

令和6年11月6日：令和6年度 第2回 技術管理委員会 議題

審議事項

○基準型技術「管きょ内面被覆（反転・形成）工法」の試行認定評価

基準型技術の種類	管きょ内面被覆（反転・形成）工法	
工法の名称	アルファライナーH工法	
申請者	光硬化工法協会	
申請日	令和6年9月30日	
審査所管部署	管きょ内面被覆工法評価専門部会（建設部 設計調整課）	
審査目的	光硬化工法協会から申請があった本工法について、管きょ内面被覆（反転・形成）工法の採用を拡大するため、書類審査を実施し、技術管理委員会が承認した技術評価基準（以下「技術評価基準」という。）を満足しているかを確認した。	
申請内容 （適用範囲）	種 材：A 種材（耐酸性ガラス繊維+不飽和ポリエステル樹脂） 工法分類：形成工法 形成方法：光硬化方式 適用範囲：本管内径 250mm ～ 700mm	
審査内容及び結果	【書類審査】 ・ 申請書類を基に技術評価基準で定められている評価項目（耐荷性能、耐久性能、耐震性能、水理性能、品質・施工管理）の要求性能との適合について確認	【結果】 ・ いずれも要求性能を満たしていることを確認
審査結果	・ 書類審査の結果が技術評価基準を満足していることを確認できたことから、本工法を試行認定とする。	
備 考		